

## 第 6 回 JMAC シンポジウム プログラム 第 1 日

2019 年 1 月 24 日 (木)

**Day1**

**受付 : 9:30~10:00**

**東京国際フォーラム ホール B5**

### セッション 1「バイオ分野で進む ISO とイノベーションの関係」

座長 : 中江裕樹 (JMAC)

10:00~10:05	<b>ご挨拶</b> 経済産業省
10:05~10:10	<b>セッション 1「バイオ分野で進む ISO とイノベーションの関係」のご紹介</b> 中江 裕樹/JMAC
10:10~10:40	<b>バイオバンク分野における適合性評価</b> 古田 耕/神奈川県立がんセンター
10:40~11:10	<b>A Summary of Current Standardization Activities in ISO/TC276 Biotechnology</b> Clare M. Allocca/National Institute of Standards & Technology (米国 NIST)
11:10~11:30	<b>生物発光計測を用いたセルベースアッセイに関する国際標準化動向</b> 野田 尚宏/産業技術総合研究所
11:30~11:50	<b>個別化医療時代の医薬品安全性評価</b> 関野 祐子/東京大学大学院薬学系研究科
11:50~13:10	<b>休憩 &amp; ポスター</b>
13:10~13:40	<b>Two-Tailed PCR for precision diagnostics</b> Dr. Mikael Kubista/TATAA Biocenter (スウェーデン)
13:40~14:10	<b>FIRM (再生医療イノベーションフォーラム) の国際標準化活動</b> 日置 達男/再生医療イノベーションフォーラム (FIRM)・富士フイルム株式会社 柳田 豊/再生医療イノベーションフォーラム (FIRM)・アステラス製薬株式会社

### セッション 2「miRNA プロジェクト成果報告会 part1」

座長 : 落谷孝広 (国立がん研究センター)

14:10~14:15	<b>ご挨拶</b> 山田 尚之/AMED
14:15~14:25	<b>セッション 2「miRNA プロジェクト成果報告会 part1」のご紹介</b> 落谷 孝広/国立がん研究センター研究所
14:25~14:55	<b>血清 miRNA によるがん早期診断研究の現状</b> 松崎 潤太郎/国立がん研究センター研究所

14:55～15:25	<b>大腸がん術前 1 滴の血液で外科治療が変わるがん外科治療におけるバイオマーカー研究のインパクト</b> 落合 大樹／国立がん研究センター研究所・北里大学北里研究所病院
15:25～15:55	<b>休憩&amp;ポスター</b>
15:55～16:25	<b>複数疾患を対象にした組み合わせマーカー探索アルゴリズムの開発</b> 藤宮 仁／株式会社ダイナコム
16:25～16:55	<b>AI 医療の可能性と実際</b> 大田 信行／Preferred Networks America, Inc.
16:55～17:25	<b>認知症のマイクロ RNA バイオマーカーの同定</b> 新飯田 俊平／国立長寿医療研究センター
17:25～17:30	<b>セッション 2 統括</b> 落谷 孝広／国立がん研究センター研究所
18:00～19:30	<b>レセプション</b> 東京国際フォーラム ガラス棟 ラウンジ ※参加にはお申し込みが必要です。

## 第 6 回 JMAC シンポジウム プログラム 第 2 日

2019 年 1 月 25 日 (金)

**Day2**

**受付：9:30～10:00**

**東京国際フォーラム ホール B5**

### セッション 3「miRNA プロジェクト成果報告会 part2」

座長：中江裕樹 (JMAC)

10:00～10:10	<b>ご挨拶</b> 斉藤 史郎／JMAC 会長・株式会社東芝
10:10～10:15	<b>セッション 3「miRNA プロジェクト成果報告会 part2」のご紹介と昨日の概要</b> 中江 裕樹／JMAC
10:15～10:45	<b>血中マイクロ RNA 診断のための DNA チップ測定技術開発</b> 滝澤 聡子／東レ株式会社
10:45～11:00	<b>電気化学的な miRNA 検出技術の開発</b> 橋本 幸二／株式会社東芝
11:00～11:15	<b>臨床現場での利用を志向した non-PCR 型 miRNA 測定システムの開発</b> 小堀 哲生／京都工芸繊維大学 野田 雄一郎／アークレイ株式会社
11:15～11:30	<b>臨床現場での検査実現に向けた体液からのエクソソーム及び miRNA 自動抽出精製装置の開発</b> 澤上 一美／プレジジョン・システム・サイエンス株式会社
11:30～12:00	<b>マイクロ RNA バイオマーカーに関わる国際標準化</b> 中江 裕樹／JMAC
12:00～13:20	<b>休憩 &amp; ポスター</b>

### セッション 4「リキッドバイオプシー技術のもたらす未来と展望」

座長：落谷孝広 (国立がん研究センター)

13:20～13:25	<b>ご挨拶</b> 加藤 紘／山口大学 名誉教授
13:25～13:55	<b>セッション 4「リキッドバイオプシー技術のもたらす未来と展望」</b> 落谷 孝広／国立がん研究センター研究所
13:55～14:25	<b>Unveiling of Extracellular miRNA Profiles of Breast Cancer</b> Dr. Tang-Long Shen／National Taiwan University (台湾)
14:25～14:55	<b>Rigor and Reproducibility for Liquid Biopsy</b> Dr. Matthew Young／National Cancer Institute (米国)
14:55～15:25	<b>休憩 &amp; ポスター</b>

15:25～15:55	<b>リキッドバイオプシーを臨床検査として活用するために</b> 前川 真人／浜松医科大学 医学部 臨床検査医学
15:55～16:25	<b>リキッドバイオプシーによるがんプレジジョンメディスン</b> 西尾 和人／近畿大学 医学部 ゲノム生物学教室
16:25～17:15	<b>パネルディスカッション</b> <b>「リキッドバイオプシー技術のもたらす未来と展望」</b> 西尾 和人、Dr. Shen, Dr. Young、前川真人、落谷孝広、中江裕樹